争議を闘う仲間とともに

第三四回 全国争議団交流会報告

◇一日目　屋内集会

三月八日と九日、争議を闘う仲間と支援連帯する労組・個人が集まり全国交流集会と全国結集行動が東京を中心に取り組まれた。港合同各支部（田中・昌一・大熊・協和機工）の賛同を得て、南労会支部（主催団体、関西争議交流会の一員）としてK、Iが参加した。

八日は、品川区の南部労政会館で分科会と全体集会が開催された。

分科会は、第①「争議経験交流」、第②「争議非合法化に抗して」、第③「争議を闘う合同労組運動」。

夕刻からの**全国交流集会**には六八名が参加。

冒頭、勝利・解決争議報告として、いずれも福岡地区合同労組の「東福互光」「福岡交通（新光タクシー）」「鴻池運輸」の各争議の現場と公判廷を結合させた闘いの報告がなされた。

続いて**各戦線からのアッピール**。破防法・組対法共同行動、心神喪失者等医療監察法、沖縄反戦地主会、「日の丸・君が代」強制と闘う仲間、経産省前反原発テント広場等、各戦線から連帯と報告アピールがなされた。

各々厳しい攻防の中、労働者・弱者の権利奪取、治安弾圧、管理監視という点で共通しており、統一連携した反撃が是非とも必要である。

その後、**全国の争議団・労組**の紹介があり、九州↓関西↓東京の順に登壇、持ち時間一分半では到底、喋り足らずタイムキーパーからレッドカードが連発される事態であった。

基調報告、集会決議、翌日現場行動の注意事項と決意表明後、全員でシュプレヒコールを挙げ二時間半の集会を終了した。

◇二日目　全国結集行動

①法務省抗議行動

午前九時に弁護士会館前でマイク情宣開始。話し合いだけでも逮捕が可能になる共謀罪、盗聴の無制限拡大に通じる通信傍受法改悪が緊急課題、五名の代表団がこれらの悪法・弾圧法に厳しく抗議、国会上程をするなと申し入れ書を渡した。

②明治大学生協闘争

都心の大学本部前で生協つぶし、生協労組つぶしの大学理事会の責任を追及し、弾圧に抗して解決局面を果敢に切り開く

当該労組の奮闘に大きな声援を上げた。

③大道測量　集会&デモ

続いて郊外の東久留米市へ電車とバスで移動、朝からの小雨が強まる中、大道測量の前社長宅に対する、抗議集会と自宅包囲デモを貫徹した。

いずれの闘いも仮処分・間接強制と言う経営側の民事弾圧に晒され、司法反動が経営資本に味方する中、困難な闘いを強いられている。明大生協労組は情宣活動に対し「拡声器や組合旗、横断幕を取り上げる」執行官保管という労働組合に対しては歴史的にも初めての弾圧を数度にわたって受けながら、入試情宣など現場闘争から撤退せず大学側を追及している。大道測量闘争では複数の不当労働行為が確定判決で支持された労委命令違反となり刑事罰が発動されるところまで経営を追い詰め、今回の前社長自宅デモも情宣活動禁止の仮処分決定を突いて敢行された。厳しい状況を幾重にも抱えながらも、何よりも争議当該の当局、経営に迫る気魄（きはく）に闘争勝利の確信がつかめた全国結集行動だった。

南労会支部　Ｉ

ユニオンネット春闘行動

三月十一日、恒例の大阪ユニオンネットワーク春闘行動が行われた。

電通合同のＮＴＴ西日本とテルウェル西日本、関西生コン支部の桜宮化学での社前集会と申入れ行動の後、教育合同・ゼネラルユニオン・なかまユニオンの三労組が大阪市役所へ申入れし情宣を行った。昼食後はユニオンおおさかのＴＯＰ、京都ユニオンの東和薬品での抗議と申入れ、最後をゼネラルユニオンの高槻市教委への抗議申入れで締めくくった。

いずれも不当労働行為、不当解雇、非正規労働者差別、パワハラ等を続ける使用者。府下を広範囲に移動し、百数十名で闘う春闘ここにあり！を示す行動となった。

南労会支部　Ｏ